

京極読書新聞 <第34号>

発行日 平成24年 6月 1日(金)
京極町生涯学習センター湧学館

出前図書館が 今年もはじまったよ!

5月17日(木)、京極小学校。5月24日(木)が南京極小学校。今年度も毎月皆さんの学校にお邪魔します。おもしろい本、楽しい本をどんどん見つけてゆきましょう! 17日の京極小学校(5年生)では、今までのスタイルをちょっと変えて、少人数の南京極小学校でよく行っている「ブックトーク」型の出前図書館をやってみました。どうだったかな?



京極読書新聞は
毎月1日発行です。

▲約15分のブックトークのあと、自由読書。紹介された本をみんなで読んだり、座って読んだりしました。音楽室が意外と快適なのは湧学館の人もびっくり。

《ブックトーク》

『土の中から出てきたよ』(対象:京極小学校5年生/28名)

湧学館司書 新谷 保人(あらや・やすひと)



▼みなさん、こんにちは。ようやく春になって、今日、小学校に来る時に見た羊蹄山も麓のところに土がかなり出てきましたね。来週はジャガイモの植えつけ自然体験があるし、外



でいっぱい遊べますね。
▼(「土の中からでてきたよ」をブックスタンドに立てて)そこで、今日、おじさんは「土の中からでてきたよ」という本をいっぱい持ってきました。まずは畑にたねいもを植えつける時の、おまじない。おじさんの場合は、この絵本です。「おおきなかぶ」。短いお話なので、読んでみましょう。

▼「おじさんが かぶを うえました。」

▼「やっつ、かぶは めけました。」

▼種や株を植える時、口の中で「うんとこしょ どっこいしょ」と言うのがおじさんの癖です。

▼この絵本は、子どもの頃、学芸会でこの「おおきなかぶ」の劇をやって以来の、おじさんの大切な大切な友だちです。

▼劇ではね、おじさん、「ねこ」の役だったから出番が遅くてね、ステージの横でドキドキしながらずっと待っていたことを思い出します。

▼さて、土の中から出てくるものはジャガイモやかぶだけではありません。花や虫だけではありません。こんなものも出てくるんだよ。「**知床ヒグマ物語**」。冬眠からさめた熊が穴から出てきます。

▼ここ、京極の町ではもっと有名なものが出てきますね。「**京極町勢要覧**」(表紙)。そう、噴きだし湧水。土の中から水が



出てくる。羊蹄山に降りつもった雪が、春になって融けて山の地面にしみこんで、頂上からふもとの京極町へ、何十年もかかって降りてくるんだよ。だから、今みんなが飲んでいる水は、みんなが生まれる前、お父さんお母さんが子どもだった頃に降った雪かもしれないね。

▼その、噴きだし公園のちょっと先に、昔、「風穴」というものがありました。「**川西風穴貯蔵庫**」。土の中から冷たい風が吹いてくる。冷蔵庫がなかった昔の人は、ここに小屋を建てて畑でとれた作物を保存していたんだよ。

▼でも、京極町はもっとすごいものが土からでてきました。これです。「**京極村脇方小学校開校五十年記念誌**」。鉄の原料となる鉄鉱石が三条通りをずっと山の方へ行った地方で発見されました。

▼京極町の人口、いちばん多かった時で「1万4千人」です。約7千人が今の京極町のところに住んでいました。そして、残りの半分、約7千人の人がこの脇方(わきかた)という町で鉄鉱石を掘る仕事をしていました。鉄鉱石を運び出すために鉄道が敷かれ、脇方駅ができました。子どももいっぱいいて、学校ができ、病院が建ちました。脇方から鉄鉱石が出たために、北海道のいろんな歴史が変化していったんだよ。

▼そんな脇方の町ですが、鉄鉱石を掘りつくしてしまいました。もう鉄はできません。鉄鉱石を掘るのが仕事だった人たちもどんどん町を離れて行きます。鉄鉱石を運ぶための鉄道も必要が無くなり廃止になります。そして、この「脇方小学校」も閉校になります。今、脇方に行っても人っ子一人いません。人口ゼロです。建物も残っていません。ほんとに、ここに人口7千人の町があったのか?と不思議な気持ちになります。

▼鉄鉱石、石油や石炭、金や銀やダイヤモンド、ほんとに土からはいろんなものが出ますね。他にも、こんなものも出るんだよ。「**石の中のうずまきアンモナイト**」。そう、化石ですね。

▼これなんか、すごいよ。「**恐竜と歩こう!**」だって! 土の中から恐竜が出てきた!

▼まだまだあるよ。「**本のれきし5000年**」。土の中から本が出てきた! どうして本が出てくるんだろう?(会場から「誰かが隠したから」の声) そうかな。興味を持った人はこの本を読んでみてください。

▼まだまだまだあるよ。「**七人の大昔の幽霊**」。土の中から幽霊もでてきた。卑弥呼の幽霊も登場する面白いお話です。

▼「**ひやくにんのおとうさん**」。こちらは、土の中からお父さんが百人出てくる中国のお話。



3ページ目に続きます

▼さて、本日のラスト、「ストーン・エイジ・ボーイ」。森を歩いていたぼくは、足をすべらせて穴の中へ…。そこで出会ったのは、見たこともない服を着て、聞いたこともない言葉話し、何もかも手作りする人たちだった。このお話、土の中から「自分」が出てくるというお話です。いろいろなもの土から出てくるけれど、まさか、「自分」が出てくるお話があるとは思いませんでした。



▼(「土の中からでてきたよ」をとりあげて)「ヒゲは、もじやもじや、えんとつ頭。」「だれだ、だれだ。」「こりや、なんだ。」「いろんな顔がでできます。土の中から見つかるぞ。」「はい、今日は「土の中からでてきたよ」というお話でした。

▼おまけもあるよ。「小学5年生が大活躍する本」も15冊くらい持ってきました。こっちも読んでね。(5月17日、京小で行った出前図書館のブックトークを文章化したものです)



▲ 南京極小学校の出前図書館もスタート。おもしろい本、見つけるぞ！

京極文学館・第1回 大町桂月「東俱知安鉄山にて」

平成24年度の「後志の文学講座」。今年度は「京極文学館」と銘打って、京極の町が登場するすべての作品を読みつくそうと考えています。一切の端折りなし。作品の最初から最後までを完全版で読み切っていく予定です。

第1回は大町桂月の漢詩「東俱知安鉄山にて」。6月の第2回は本山悦恵「雪灯り」という作品を読みます。さらに、夏の第3回からは沼田流人「血の呻き」が始まります。発禁本。長らく作品の一部だけしか読むことができなかった「血の呻き」ですが、今回はその発禁本を複製し完全版で読んでみようと思います。(新谷)



▲ 当初の予定人数を大きく超えた11人での読書会になりました。

余談「平清盛」(5)

<『平家物語』を読む会> 講師 村山 功一(むらやま・こういち)

前回は清盛の“美意識”というようなことを考えてみました。そして、<……絶妙なバランス感覚を備えた人物>と評価しましたが、彼のバランス感覚は、美的センスに関わるものだけではありません。ドラマに少し先行しますが、今回は清盛の思考パターンにバランス感覚が関わる例を見ていきましょう。

「平治の乱(1159年)」後、常葉とともに出頭した義朝の遺児、今若・乙若・牛若の三人をすべて処刑せず助けています。一般にこの清盛の寛大な処置を、絶世の美女である常葉に迷ったためとか、妾(しょう)にするための交換条件……などとしています。しかし、古態本『平治物語』には、生かしておくこと将来の脅威になると処刑を迫る周囲の人々に、<……成人の頼朝をばたすけて、おさなき者をばきらん事、其謂(そのいわれ)、さかさまなるべし>と述べたと記されているそうです(1)。

この三人の異母兄、頼朝はすでに助命され伊豆へ流されています。つまり、元服し成人となった(といっても14歳ですが)頼朝を助けて、幼い三入を斬るのは“バランスを欠く”という判断です。同情などという感情ではない、合理的かつ明晰な論理ではないでしょうか。ここでも、彼の卓抜したバランス感覚が発揮されていると思います。残念なことに時代が下がるにしたがって、先のような“好色な清盛”というスキャンダラスな物語へと変貌

し、悪行の人清盛という人物像は一層鮮明になっていくのです。同じ『平治物語』でも、古活字本(近世初頭)ではく太宰大式(だざいのだい)清盛は、常葉が姿を見たまひてより、由なき心ぞ移られける>と語られ(2)、助命の理由はもはやバランスの問題ではありません。

多くの諸本・異本を持つ古典作品は、古いもの(ということは“原作”に近いということ)ほど素朴であり、同時により史実を反映していると思われます。したがって、古態本『平治物語』の描く清盛が、いまや通説となっている古活字本が描く清盛より実像に近いのでは……と考えますが、どうでしょうか。

そしてまた、捕縛または出頭した敵将の遺児たちの命をすべて助けるという、武士社会の常識を破る決断は、その当否は別として清盛の器の大きさを示すものと思います。ただその結果、助けられた頼朝・義経(牛若)によって平家一門は滅ぼされるわけですから、結果としてこの判断は甘かったと言わざるを得ません。しかし、そこに決して冷酷非情ではない、清盛の姿が浮かび上がってくるように思うのです。 [以下次号]

【注】(1) 樋口大祐『変貌する清盛』P134

(2) 同前P135



▲平治物語絵巻 三条殿夜討巻(部分)

発行

京極町生涯学習センター湧学館
〒044-0101 京町字京極158番地1
TEL 0136-42-2700(代表)
FAX 0136-42-2032
E-Mail yugakukan@town-kyogoku.jp



ホームページもご覧ください
<http://lib-kyogoku.cubet.com/>

